



標準施工要領書

【外壁パネリング材】



標準施工要領書 【外壁パネリング材】

施工前の準備

施工前の注意点

- ・製品の仕様(サイズ等)、数量に間違いがないことを確認してください。
- ・製品に瑕疵がないことを確認してください。
- ・保管の際は直射日光や雨が当たる場所は避けてください。
また保管の際は立てかけずに平置きにしてください。
- ・特別なご指定がない限り、製品は不燃、準不燃、難燃の認定品ではありません。

使用する釘

- ・釘は板厚の3倍以上の長さのスクリー釘を使用してください。

下地の確認

- ・横張りの場合は455mm以内のピッチで縦胴縁、縦張りの場合は同じく455mm以内のピッチで横胴縁を取り付けてください。
- ・胴縁は乾燥した材料を使用してください。

施工の手順

- ・形状により下記の通り固定をしてください。

本実パネリング

- ・雄実側より胴縁に向かって45度の角度を目安に釘を打ち込んでください。【図1】

ベベルサイディング

- ・重ね部分には釘を打たず、重ね部分のすぐ上(約5mm)に脳天から胴縁に向かって釘を打ち込んでください。【図2】

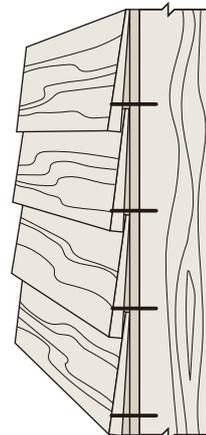
- ・重ね幅は下記の通りです。

品名	重ね幅
BE-19165	25mm～28mm
BE-19125	重ね用シャクリ付き(約14mm)
BE-19172	重ね用シャクリ付き(約15mm)
BE-12114	25mm

【図1】本実パネリングの取付施工



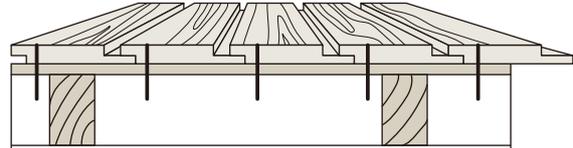
【図2】ベベルサイディングへの釘打ち





チャンネルサイディング

- ・重ね部分には釘を打たないでください。
釘打は右図を参照してください。



(各形状共通)

- ・長手方向の継ぎ手は胴縁の上で継ぎ合わせてください。
- ・縦張りの継ぎ目は各々の端を45度にカットして胴縁の上で継ぎ合わせてください。

